

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】令和 3 年 2 月 12 日 (2021.2.12)

【公開番号】特開 2019-5007 (P2019-5007A)

【公開日】平成 31 年 1 月 17 日 (2019.1.17)

【年通号数】公開・登録公報 2019-002

【出願番号】特願 2017-121775 (P2017-121775)

【国際特許分類】

A 6 3 F 5/04 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 5/04 5 1 2 Z

A 6 3 F 5/04 5 1 2 C

【手続補正書】

【提出日】令和 3 年 1 月 4 日 (2021.1.4)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

所定の表示手段と、

特定の報知手段と、

遊技の進行を制御する主制御手段と、

演出を制御する副制御手段と

を備え、

前記主制御手段は、

抽選を行う抽選手段と、

演出グループ情報を導出するための特定テーブルと、

情報を記憶可能な記憶手段と

を備え、

前記抽選手段により決定され得る抽選結果として、第 1 抽選結果と第 2 抽選結果と第 3 抽選結果とを有し、

第 1 抽選結果が決定された遊技では、ストップスイッチが第 1 の操作態様で操作された場合に遊技価値として「X」を付与可能な図柄組合せを停止表示可能であり、

第 2 抽選結果が決定された遊技では、ストップスイッチが第 2 の操作態様で操作された場合に遊技価値として「X」を付与可能な図柄組合せを停止表示可能であり、

遊技区間として、通常区間と有利区間とを有し、

通常区間において第 1 抽選結果が決定された遊技では、特定のアドレスを基準アドレスとし、第 1 抽選結果に対応する情報をオフセット値として、前記特定テーブルから演出グループ情報を導出可能とし、導出した演出グループ情報を前記副制御手段へ送信可能に構成されており、

通常区間において第 2 抽選結果が決定された遊技では、前記特定のアドレスを基準アドレスとし、第 2 抽選結果に対応する情報をオフセット値として、前記特定テーブルから演出グループ情報を導出可能とし、導出した演出グループ情報を前記副制御手段へ送信可能に構成されており、

通常区間において第 1 抽選結果が決定された遊技で導出される演出グループ情報と、通常区間において第 2 抽選結果が決定された遊技で導出される演出グループ情報は、同一の

情報であり、

通常区間において第 1 抽選結果が決定された遊技では、前記所定の表示手段によってストップスイッチの有利な操作態様を報知せず、

有利区間において第 1 抽選結果が決定された遊技では、前記所定の表示手段によってストップスイッチの有利な操作態様を報知する場合を有し、

第 1 抽選結果が決定され、前記所定の表示手段によってストップスイッチの有利な操作態様を報知した遊技において、遊技価値として「X」を付与可能な図柄組合せが停止表示した場合には、前記特定の報知手段によって特定演出を実行可能とし、

第 1 抽選結果が決定され、前記所定の表示手段によってストップスイッチの有利な操作態様を報知した遊技において、遊技価値として「Y (Y < X)」を付与可能な図柄組合せが停止表示した場合には、前記特定の報知手段によって前記特定演出を実行せず、

第 3 抽選結果が決定され、特別図柄組合せが停止表示されなかった遊技の次遊技は、内部中遊技状態の遊技であり、

第 3 抽選結果が決定され、特別図柄組合せが停止表示された場合は、特別遊技状態を開始するよう構成され、

有利区間における遊技の実行回数が所定回数となる遊技が実行されると、有利区間が終了するように構成され、

有利区間における遊技の実行回数が所定回数となる遊技が内部中遊技状態で実行されたときにも、有利区間が終了するよう構成され、

有利区間における遊技の実行回数が所定回数となる遊技が特別遊技状態で実行され、その遊技で特別遊技状態の終了条件を満たさなかった場合は、次の遊技は、通常区間であり、特別遊技状態であるように構成され、

有利区間における遊技の実行回数が所定回数となる遊技が実行されると、前記記憶手段に記憶されている所定の記憶領域の情報を初期化可能とし、

設定変更に伴い、前記記憶手段に記憶されている特定の記憶領域の情報を初期化可能とし、

所定の記憶領域は、特定の記憶領域に含まれる記憶領域であることを特徴とする回胴式遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 6】

本態様に係る回胴式遊技機は、

所定の表示手段と、

特定の報知手段と、

遊技の進行を制御する主制御手段と、

演出を制御する副制御手段と

を備え、

前記主制御手段は、

抽選を行う抽選手段と、

演出グループ情報を導出するための特定テーブルと、

情報を記憶可能な記憶手段と

を備え、

前記抽選手段により決定され得る抽選結果として、第 1 抽選結果と第 2 抽選結果と第 3 抽選結果とを有し、

第 1 抽選結果が決定された遊技では、ストップスイッチが第 1 の操作態様で操作された場合に遊技価値として「X」を付与可能な図柄組合せを停止表示可能であり、

第 2 抽選結果が決定された遊技では、ストップスイッチが第 2 の操作態様で操作された

場合に遊技価値として「X」を付与可能な図柄組合せを停止表示可能であり、

遊技区間として、通常区間と有利区間とを有し、

通常区間において第1抽選結果が決定された遊技では、特定のアドレスを基準アドレスとし、第1抽選結果に対応する情報をオフセット値として、前記特定テーブルから演出グループ情報を導出可能とし、導出した演出グループ情報を前記副制御手段へ送信可能に構成されており、

通常区間において第2抽選結果が決定された遊技では、前記特定のアドレスを基準アドレスとし、第2抽選結果に対応する情報をオフセット値として、前記特定テーブルから演出グループ情報を導出可能とし、導出した演出グループ情報を前記副制御手段へ送信可能に構成されており、

通常区間において第1抽選結果が決定された遊技で導出される演出グループ情報と、通常区間において第2抽選結果が決定された遊技で導出される演出グループ情報は、同一の情報であり、

通常区間において第1抽選結果が決定された遊技では、前記所定の表示手段によってストップスイッチの有利な操作態様を報知せず、

有利区間において第1抽選結果が決定された遊技では、前記所定の表示手段によってストップスイッチの有利な操作態様を報知する場合を有し、

第1抽選結果が決定され、前記所定の表示手段によってストップスイッチの有利な操作態様を報知した遊技において、遊技価値として「X」を付与可能な図柄組合せが停止表示した場合には、前記特定の報知手段によって特定演出を実行可能とし、

第1抽選結果が決定され、前記所定の表示手段によってストップスイッチの有利な操作態様を報知した遊技において、遊技価値として「Y (Y < X)」を付与可能な図柄組合せが停止表示した場合には、前記特定の報知手段によって前記特定演出を実行せず、

第3抽選結果が決定され、特別図柄組合せが停止表示されなかった遊技の次遊技は、内部中遊技状態の遊技であり、

第3抽選結果が決定され、特別図柄組合せが停止表示された場合は、特別遊技状態を開始するよう構成され、

有利区間における遊技の実行回数が所定回数となる遊技が実行されると、有利区間が終了するように構成され、

有利区間における遊技の実行回数が所定回数となる遊技が内部中遊技状態で実行されたときにも、有利区間が終了するよう構成され、

有利区間における遊技の実行回数が所定回数となる遊技が特別遊技状態で実行され、その遊技で特別遊技状態の終了条件を満たさなかった場合は、次の遊技は、通常区間であり、特別遊技状態であるように構成され、

有利区間における遊技の実行回数が所定回数となる遊技が実行されると、前記記憶手段に記憶されている所定の記憶領域の情報を初期化可能とし、

設定変更に伴い、前記記憶手段に記憶されている特定の記憶領域の情報を初期化可能とし、

所定の記憶領域は、特定の記憶領域に含まれる記憶領域であることを特徴とする回胴式遊技機である。

< 付記 >

尚、本態様とは異なる別態様について以下に列記しておくが、これらには何ら限定されることなく実施することが可能である。

本別態様に係る回胴式遊技機は、

外部に情報を出力可能な接続手段と、

遊技の進行を制御する主制御手段と、を備え、

前記接続手段は、得点に関する情報を前記主制御手段に出力可能とし、

得点が所定の閾値を超えた場合には、前記主制御手段は、前記所定の閾値を超えた得点に関する情報を前記接続手段に送信可能とする、

ことを特徴とする。